**第７１回　函館高等学校柔道大会**

**兼 第７０回　北海道高等学校柔道大会函館支部予選会**

**大会要項**

主　　催　　北海道高等学校体育連盟函館支部

後　　援　　函館柔道連盟

主　　管　　北海道高等学校体育連盟函館支部柔道専門部

当 番 校　　函館大谷高等学校　　住所：函館市鍛冶1丁目2番3号

　TEL 0138-52-1834　FAX 0138-52-1853

期　　日　　令和３年５月２１（金）

|  |
| --- |
| **【５月２１日（金）】** ９：００**開場・会場設営**１０：００　**受付**１０：００　　　　男子・女子計量１０：２０　　　　専門委員会１０：３０　　　　監督・主将会議１０：４５　　　　顧問・審判会議１１：００　　　　開会式１１：２０　　　　団体試合（女子団体試合は、男子団体試合前に行う）１２：００　　　　女子個人試合１２：３０　　　　男子個人試合１５：３０　　　　開場復元・閉会式・表彰式　 |

会　　場　　函館武道館（函館アリーナ内）

（　函館市湯川町1丁目３２番２号　TEL : 0138-57-3134　）

競技規則 国際柔道試合審判規定による。

参加資格

（１）北海道高等学校体育連盟函館支部に加入している高等学校の生徒であること。

 （２）令和３年度全日本柔道連盟・函館柔道連盟に登録している生徒であること。

（３）平成１４年４月２日以降に生まれた者。ただし同一学年での出場は１回限りとする。

（４）転校後６ヶ月未満（全道大会を起算）ただし、一家転住等の止むを得ない場合で高体連函館支部長の許可があればこの限りではない。

（５）参加選手は予め健康診断を受け、在学する学校長の許可を得ること。

（６）参加資格の特例

① 上記（３）のただし書きについては、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技３回限りとする。なお、高等専門学校については，第３学年までの年齢が19才未満の者に限る。

編　　成

（１）団体

①男子は、監督１名 選手５名 補欠選手1名 マネージャー１名の計8名をもって編成する。

　 ②女子は、監督１名 選手３名 補欠選手１名 マネージャー１名の計６名をもって編成する。

　 ③全日制課程と定時制課程の生徒による混合チームは認めない。

（２）個人

①男女とも支部大会参加規定による。各階級の出場人数は限定しない。

支部代表 団体試合、個人試合とも全道高等学校体育大会規定による。

試合方法

（１）**団体≪男子≫**

①参加校数により専門部で協議し、試合方法を決定する。

②チーム間の勝敗の決定は勝率高点法による。同点の場合は【勝敗がついた試合】で「一本総数」「技有総数」の多いチームを勝利とする。それも同じ場合は【勝敗がついた試合】で「指導総数」が少ないチームを勝利とする。それでも同じ場合は代表決定戦を１回行い、必ず勝敗を決める。

　 ③リーグ戦内の勝率勝点が同一の場合は試合内容（一本・技有・指導差）を精査して順位を

決定する。

④試合時間は全て３分とする。延長戦（ゴールデンスコア）は時間制限を設けない。

⑤「優勢勝ち」の判定基準は、「技有」又は「僅差」（指導差２）以上とする。

（２）**団体≪女子≫**

①試合方法は参加校数により専門部において決定する。

②チーム間の勝敗の決定は勝率高点法による。同点の場合は【勝敗がついた試合】で「一本総数」「技有総数」の多いチームを勝利とする。それも同じ場合は【勝敗がついた試合】で「指導総数」が少ないチームを勝利とする。それでも同じ場合は代表決定戦を１回行い、必ず勝敗を決める。

③リーグ戦内の勝率勝点が同一の場合は試合内容（一本・技有・指導差）を精査して順位を

決定する。

　 ④試合時間は全て３分とする。

　 ⑤「優勢勝ち」の判定 基準は、「技有」又は「僅差」（指導差２）以上とする。

（３）**個人≪男子≫**

　 ①各階級ともトーナメント戦とする。北海道大会出場権獲得のため敗者復活戦を行う。

　　　②試合時間は３分とする。

　　　③「優勢勝ち」の判定基準は「技有」、または「僅差（指導差２）」以上とする。技による

評価が同等および指導差１以内の場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決定する。

④延長戦（ゴールデンスコア）の判定基準は「技あり」以上または「指導」の差により勝敗を決する。

⑤７階級とし、体重区分は次の通りとする。

|  |  |
| --- | --- |
| **・＋１００㎏級　 　　・－１００㎏級　　 　・－９０kg級　　 　・－８１kg級****・－７３㎏級　　 　　・－６６㎏級　　 　　・－６０kg級** |  |

**※計量は定められた時間内に行い、体重に過不足のある者は出場を認めない**。

（４）**個人≪女子≫**

①試合方法は参加人数により専門部で決定する。

②試合時間は３分とする。

③「優勢勝ち」の判定基準は「技有」、または「僅差（指導差２）」以上とする。技による

評価が同等および指導差１以内の場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決定す

る。

④７階級とし，体重区分は次の通りとする。

|  |
| --- |
| **・＋７８㎏級　　 　　・－７８㎏級　　 　　・－７０kg級　　　　・－６３kg級****・－５７㎏級　　 　　・－５２㎏級　　　 　・－４８kg級** |

**※計量は定められた時間内に行い、体重に過不足のある者は出場を認めない**。

組み合せ　　令和３年５月１９日（水）１６：００～　函館大谷学園同窓会室において専門委員立会いの上、抽選を行う。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申込方法 | 申込期日　**令和３年５月１４日（金）必着**で、メールにて送る。また学校長印を押印したものを郵送すること。(〆切以降の申し込みは原則として受け付けません。)申 込 先　**〒041-0852**　　**北海道函館市鍛冶1丁目2番3号** 　　　　　　 **函館大谷高等学校　内**　 **高体連柔道大会事務局 　清水　猛** 　宛　メール送付先　　　shimizu@hakodate-otani-h.ed.jp　　　　　　 |  |

参 加 料　　支部大会の**参加料一人４００円**のほか、**全国高体連柔道負担金一人５００円**を徴収

します。５月２１日（金）の受付時に納入すること。

表　　彰　　団体試合は３位まで、個人試合おいては、－６０kg級、－６６㎏級、－７３㎏級、

　　　　　－８１kg級、－９０kg級は各階級５位（６名）まで、－１００㎏級、＋１００㎏級　　　　　　　は各階級３位（４名）までを表彰する。

注意事項

（１）選手の変更

①申込後、参加者に変更が生じた場合は所定の証明書（当該校長の出場承諾書）を５月２１

日（金）の監督・主将会議までに専門部へ届け出ること。

②団体試合のオーダーは５月２１日（金）の監督・主将会議時に提出し、補欠選手変更以外

のオーダーの変更は認めない。

　　③参加申込後の選手変更は１名を限度とする（補欠選手を優先）。ただし、伝染病・天災等

による場合はこれを適用しない。

　　④競技開始時に選手変更の必要が生じた場合は、選手変更用紙に必要事項を記入して本部記

録に提出し、選手変更の承諾を得て交代を行うこと。

（２）**高体連全国柔道専門部会研究調査報告誌代１，５００円**を参加料と同時に納入して下さい

（３）紅白帯は各校で用意して下さい。

（４）持ち物・貴重品は各校で管理して下さい。

（５）前日（２０日）の会場での練習はできません。

（６）ゴミは各校で持ち帰ってください。

（７）女子のＴシャツは、白の無地または白の半袖レオタードとする。

（８）大会役員・審判員の昼食は、当番校で用意いたします。引率教員は昼食の用意はいたしま

せんので、ご了承ください。

（９）プログラムは各校で印刷してお持ちください。抽選会翌日にHP上に掲載します。

（10）脳震盪対応について（選手及び指導者は下記事項を遵守すること）

①大会前１ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診療を受け出場の許可を得るこ

と。

②大会中脳震盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは不可とする。なお至急

専門医（脳神経外科）の精査を受けること。

③練習再開に際しては脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し書面にて事故報告を提出すること。

（11）新型コロナウィルス感染症対策について

①大会参加２週間前より検温をし、受付時に顧問が参加者全員分（顧問・引率含む）を取

りまとめて提出し、各自検温を受けること（検温表のない者は入場させない。また記入

漏れがないように記載すること）。

　　②参加者の検温表に異常がある場合や以下の場合には参加を自ら取りやめること。

　　　ア、体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）。

　　　イ、同居家族や知人に感染が疑われる人がいる場合。

　　　ウ、過去１４日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地

域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。

　　③会場への出入り時、および試合前後には必ず手指消毒をすること。

　　④大会参加２～１週間前に２日以内の発熱や諸症状がある場合は状態を見て可とする（３

日以上は不可）。

　　⑤大会参加１週間～４日前までに１日だけ発熱や諸症状がある場合は状態を見て可とする

（３日前からの発熱含む諸症状がある場合は不可）。

　　⑥大会参加後２週間も検温表を記録し、健康管理に努める。

⑦大会終了後の２週間以内（翌々週の同曜日の日まで）に新型コロナウイルス感染症を発

症した場合は，主催者に対して速やかに報告し，濃厚接触者の有無等についても報告す

る。

（連絡先：柔道専門部　担当：清水　0138-52-1843　函館大谷高校）

　　　　　　　　　　　　　　　　　（清水→大会会場（函館アリーナ）・道専門部へ報告）

⑧大会の前後のミーティング等においても，三つの密を避けることに努める。

　　⑨大会中は選手・監督・顧問ともにマスクを常時着用し、試合時のみ選手がマスクを外す

ことを許可する。

　　⑩こまめな手洗い・アルコール等による手指消毒を徹底すること。

　　⑪大きな声での会話、声出し等はしない。

　　⑫感染防止のために主催者が決めた措置を遵守し、指示に従うこと。

　　⑬タオル、ドリンク等は個人で用意し、共有しない。

　　⑭飲食については指定場所以外では行わず、なるべく周囲と距離を取って対面を避け、会

話は行わないこと。